

第42回山梨県少年馬術選手権大会実施要項

令3年10月18日

山梨県馬術連盟
会長 土橋 亨(公印略)

1. 主催 山梨県馬術連盟
2. 開催期日 令和3年度11月21日(日)
3. 開催場所 山梨県馬術競技場
4. 参加資格 山梨県在住であり、現在中学1年生から高校2年生までにあたるもの
5. 目的 ・本県若手騎乗者の長期にわたる強化を浸透させるために、中学・高校生徒を対象とし、基礎基本の確立に挑戦することにより、将来有望な選手を発掘育成することを目的とする。
・山梨県馬術連盟第一次強化選手選考競技会を兼ねる
6. 競技種目 貸与馬による馬場馬術競技及び障害飛越競技
使用する馬匹は、すべて主催者が用意する。
7. 競技方法 昨年度の選手権優勝・準優勝者をシードとする。
(1) 予選競技:JEF馬場馬術競技 A2課目 2013(2021年更新版)
シードを加えた上位4名が決勝競技に進むものとする。
※昨年度 優勝:狐塚稔侖、準優勝:中嶋舞
(2) 第42回山梨県少年馬術選手権大会決勝競技(選手4名)
(2-1)JEF馬場馬術競技 L1 課目 2013(2021年更新版)
(2-2)障害飛越競技:基準表 A238 条 2-1、ハンターシート
障害個数10個以内 H100cm 以内、W120cm 以内、分速350m
* 競技形式はエントリー及び提供馬匹の状況により、変更する場合がある。
* ハンターシートとは
騎手姿勢、決められた間歩での走行と飛越、正しい手綱捌き、正しいスピード感覚、馬との調和
各項目 10 点満点で採点を行う(50 点満点)
障害減点が出た場合、得点より減点し、採点数の高い者を上位とする
8. 競技規定 日本馬術連盟制定の一般規程及び貸与馬規程を準用。
9. 順位決定方法 (1) 予選競技
勝敗決定方法は次の順序で決定する。
①同一馬匹の騎乗者のうちそれぞれ順位点をつけ、合計順位点が低いものが勝ち上がりとする。
②①が同点の場合
・馬場馬術競技は総得点率が高い者が勝ち上がりとする。

(2)の選手権競技は、次の順序で順位を決定する。
①馬場馬術競技、障害飛越競技それぞれの順位点を合計し、合計得点の低い者を上位とする。
②①が同点数の場合は、障害飛越競技の総減点の少ないものを上位とする。
③②が同点数の場合は馬場馬術競技の総得点率の高い者を上位とする。
④③でも同じ場合は同位とする。
【順位点】 1位:1点、2位:2点、3位:3点、4位:4点……

- 10.表彰 選手権競技の1位の者を選手権者とし、選手権トロフィーを授与するとともに市川杯を授与する。また、3位までを入賞とし賞状及びメダルを贈る。
- 11.打合せ会 日時は後日連絡
場所:山梨県馬術競技場 本部棟2階会議室
- 12.競技日程 日程は後日連絡
※小淵沢トライアル2021と同時開催のため
- 13.参加料・締切日 参加料:1名 5,000円 締切日:11月17日(水)
*締切厳守のこと。以降の追加は認めません。
- 14.申し込み方法 各団体で、取りまとめ、参加申込書に記入の上、保護者承諾の誓約書を添えて、下記へ申し込んでください。参加料は、打合せ会でお支払いください。
なお、要項等は山梨県馬術連盟ホームページからもダウンロードして頂けます。
〒408-0044 山梨県北杜市小淵沢町10060-3
山梨県馬術連盟 宛
Email:umaya@nns.ne.jp Fax 0551-36-6311
Tel: 0551-36-3798(事務局:広部)
- 15.傷害保険 参加者は何らかの傷害保険に加入のこと。
主催者では、応急処置はするも、その責任は負いません。
- 16.その他 (1) 競技形式は、エントリーの状況及び馬匹の状況により変更する場合がある。
(2) 参加者の服装は、競技会に相応しいものとし、防護帽を必ず着用すること。
(3) 馬割りは、打合せ会において抽選により決定する。
(4) 団体責任者は、参加者が競技内容に適した技量を有する者かどうか充分考慮し、エントリーしてください。
(5) 競技形式および予定時刻は、変更することがある。
(6) 参加選手は提供馬の手入れ等をする。

第42回山梨県少年馬術選手権大会 参加申込書

選手名	フリガナ	生年月日	性別	学校名	学年	乗馬歴	加入保険会社	騎乗資格

@5,000円 × 名 =

上記のとおり、申し込みます。

令和 3 年 月 日

責任者名 _____ 印

令和 3年 月 日

誓 約 書

山 梨 県 馬 術 連 盟
会 長 土 橋 亨 殿

参加選手名 _____

保 護 者 _____ 印

住 所 _____

電話番号(自宅) _____

(緊急連絡先) _____

E-mail: _____

私は、山梨県少年馬術選手権大会参加にあたり、選手として大会の主旨ルールを遵守し、

スポーツマンシップを発揮して訓練し、万一事故あるときも決して異議は申しません。

以上、誓約いたします。